

令和3年度 第3回米沢市上下水道事業経営懇談会 報告(要旨)

第3回上下水道事業経営懇談会を開催したので、報告します。

1 日時 令和3年 11 月 30 日(火)13:30～

2 場所 上下水道部庁舎会議室

3 出席委員

遠藤昌敏委員長、安部吉弘委員、岡田堅委員、加納正仁委員、鈴木愛子委員、
長澤譲委員、布施賢治委員、宮川英子委員、渡部一雄委員 以上9名
(欠席:黄木義久副委員長、小池利行委員、中村和則委員、成澤紀子委員)

事務局

上下水道部長、業務課長、水道課長、下水道課長、業務課長補佐、
水道課長補佐、下水道課長補佐、総務主査、財務主査、企画主査、給排水主査、
工事主査、施設管理主査、企画担当主査

4 会議録

(1)開会(進行:業務課長補佐)

(2)委員長あいさつ

皆さん、こんにちは。新型コロナウイルスの影響ですが、もう2年が経って早いものだと思っ
ているんですが、最近の感染の減少の具合がとっても不思議で、ワクチンが、非常に皆さんに行き渡
ってきているとか、もしくは季節性のいろんな他の競合するようなウイルスがいたりするのではない
かとか、いろいろ言われているんですけども分からない状況で、この後、本当に減ったまま行くの
か、さらに新型が出てくるのかっていうのは、非常に分からないという不安が多いという状況であり
ます。現状は収まっているので、そのまま収まって欲しいなというふうには考えておりました。ここ、
米沢に関しましては、つい先週末、雪が降ってきてですね、このまま雪が降ったらどうしようと思っ
たりしたんですけど、今日は非常に天気が良くてですね、気になっておりましたので、この会議がス
ムーズに進行すること願っております。それではよろしくお願ひします。

それでは、暫時の間、座長を務めさせていただきます。

(3)議事(議長:遠藤委員長)

ア 令和2年度決算について

い 事務局から令和2年度の水道事業会計及び下水道事業会計の決算状況について説明。

【質疑・意見等】

水道事業については、特になし。

下水道事業については、以下のとおり。

委員：決算書 43 ページの「ア 業務状況」で、水洗化人口は減少していて水洗化世帯が増えているということはどういったことですか。

事務局：人口は減少していますが、世帯数は核家族化等により増えている状況です。

イ 米沢市水道事業アセットマネジメント(資産管理)について

i 事務局から米沢市水道事業アセットマネジメント(資産管理)について説明した。

【質疑・意見等】

委員：給水人口が減少しても戸数が増えて総配水量が増えているってということで。ただいまご説明あった将来の値上げの部分は、そういった戸数が増えて総配水量が増えるという、そういった視点というのはシミュレーション的には踏まえたものですか。

事務局：アセットマネジメントの試算においては、厚労省が示す簡易的なシミュレーション方法に基づくものであり、単に人口減少に応じて料金収入も減少していくというシミュレーションになっています。

委員：給水人口が減少しても戸数が増えて総配水量が増えているということはシミュレーションでは要らないということか。将来、料金改定とか実情に合わせて考えていただくのが市民にとってはいいのではないかと思います。そのあたりはいかがでしょうか。

事務局：こちらについては、このとおりシミュレーションなので、ある程度同じ条件で全国的に作られているものです。実際に料金改定になった場合は、その料金算定期間内に見込まれる水量については、当然ながら世帯数の増加についても反映したいと考えています。

委員：老朽化してきたものは直す必要があると思いますが、今のそのシミュレーションで、単に40年ごとに更新することになっていますが、例えば、今埋めている管と40年前に埋めた管では、材料なんかもその時代で改善されて、耐用年数も全く違うものだと思います。値上げに関しては、一人ひとり、かなりシビアな部分が当然あります。そのあたりは柔軟に、わざわざ交換しなくてもいいものを交換するとか、そのようなことにならなければよいかと思います。

事務局：今、おっしゃられたように、以前工事をして埋めた管というのは、耐久性というか、寿命が短い。最近行っている工事に関しては、100年間持つような管です。また、今、布設替工事をしている管というのは、地震に対して被害の少ない耐震性のある製品となっています。更新基準に関しても、昔の管ですと寿命が40年から50年ですが、今埋めている管に関しては100年持つと言われますので、その辺を考慮した更新計画というものを作っています。

ウ 米沢市水道事業ビジョン(中間見直し)(案)及び第5期米沢市水道事業中期経営計画(案)について

i 事務局から米沢市水道事業ビジョン(中間見直し)(案)について説明した。

ii 事務局から第5期米沢市水道事業中期経営計画(案)について説明した。

【質疑・意見等】

委員：資料が多くて、説明頂いても追いつかない。この中身の濃い、膨大な資料を、インターネットで公開となっても、一般の方には分かりにくいと思う。何か良い工夫があればよいと思う。

委員：ここにいる人だけに説明して納得させることは、資料に基づいて分かると思うのですが、やはり一般の人という部分で、それが説明できるのかなという膨大な資料を出さないと説明できないということだと、その辺がちょっとネックなのかなと思います。新規にインターネット等で説明する、繰り返し見ることができるかの中に、目で見える資料ができれば、もう少し良いかと思います。

あと、重要管路の強靱化はやはり必要だと思うし、40年とか、それ以上の期間の中での更新が発生してくる。長く使えるものを使いながら、なおかつ、負担が掛からないようなことを探してもらって進めるということが最終的には必要と思うのですが、見える化がどこまでできるかということだと思うので、その部分をしていただければと思います。

事務局：今回の水道ビジョンにつきましても、これからパブリック・コメントをかけますので、こちらの本冊と概要版をお配りしておりますけれども、より分かり易い方法があるのかどうか検討してまいります。

委員：人口が減っていく、それで収入も減っていく、しかし、安全な水を供給しなきゃいけないというので、いろいろ矛盾がある中でやらなければいけないという大変な問題かなと考えております。

それから、やはり一番重要なのは水なので、安全な水をどう供給していくかということに尽きるかなと思います。非常事態の場合、日本水道協会などの協力体制があるということも初耳で、なるほどと思ったんですけれども、自衛隊さんとの協力体制とか練習というのは、米沢市は想定しているんでしょうか。

事務局：市長が判断して市長のゴーサインがないと自衛隊に要請できないような仕組みになっています。窓口は防災危機管理室という部署ですので、そちらを通じて自衛隊の要請することになります。ただ、自衛隊要請と言いますと相当大きな災害ということになりますので、米沢市が要請したからといって、すぐに来ていただけるかということもありますので、その優先順位の判断は自衛隊に任せる形にはなります。

また、訓練ということでしたけれども、米沢市独自の防災訓練、最近コロナの関係でやれていません。山形県主催の防災訓練というのもありまして、こちらの方には一応自衛隊も参加していただいているということで、なかなか米沢市単独では難しいのですが、山形県としては協力体制というのはできています。

委員：施設の老朽化というのは、当然これから出てくるはずですし、料金の見直しというのも当然あるかと思いますが、料金が上がるということは簡単なことではないと思うので、細かな料金設定など、流動的に考えてもらいたいと思っています。

委員：料金を上げる時には、説明とか納得してもらって、そのための分かり易さが必要なことだと思います。自分も上がるって言うと驚いたりすると思いますが、よくお話を聞くと人口減少など、聞けば仕方が無いと納得する部分もあったりしますので。

委員：鉛を使っている管というと身体に悪い物だと思うのでなるべく早めに交換してほしい。計画では目標が令和8年になっているのですが、なるべく早くに替えることはできないのでしょうか。

事務局：米沢市ではメーター交換を7年に1回していますが、そのタイミングで一緒にやっているような状況です。このサイクルでやっておりますので、計画の令和8年度でほぼ米沢市内は完了する予定となっておりますので、ご理解いただければというふうに思います。

委員：実際、鉛からすごく溶出してくるってことはほぼほぼ無い訳ですよね。

事務局：言われているのは、夜使わない、滞留するような時間に何らかの成分が溶け出しうる可能性がある。常に日中使っている分には、健康被害は無いと言われています。朝お使いになる時は、例えば朝起きて歯磨きとか顔を洗う時、飲まないで1～2分出していただくとその成分が無くなると言われておりますのでご注意くださいと思います。

委員：自分の家が鉛管使用に該当するってことは分からないですか。

事務局：各家庭にそういうお知らせはなかなかできてはいませんが、何年か前にメーター交換をしているようなご家庭であれば大丈夫だと思っていただいても構わないと思います。

委員：人口が少なくなればどうしても入ってくるお金が少なくなるってようなことが会議で分かったのですが、この問題は決して水道だけの問題ではないですよね。税金とかそういうものも含めて市全体で取り組んでいかなければいけない問題というのは認識されていると思います。やはり、行政の縦割りっていうのはあると思います。横の繋がりがっていうのは非常に大事だと思って、そこは水道だけってことじゃなくて、水道料金も含めてですけども、いろいろな影響があるんだよってことは各部署で理解してもらう必要があると思います。

人口減少というのは歯止めをかけていかなければいけないと思うので、この辺も含めてご検討をよろしくお願ひしたいと思います。

委員：これぐらいのクオリティーの水をこれぐらいの料金で使えるってというのは、正直、世界でも日本ぐらいだと思います。うちも事業をやらせていただいている中で、相当な大量の水を使っていますが、それは売値には転化できないというか、そういう部分もあるので、今までのような料金バランスでお付き合いできたらとは思っています。

あと、やっぱりちょっと資料が多過ぎるかなと。この資料を作るにあたっても相当な時間がかかるわけでしょうけれど、いろいろとその辺は、会議のあり方も工夫していかなければいけないというふうに思います

事務局：どうしても市で作る計画書というのは、やはり色々なところまで考えながら作るというところがあって膨大になるという傾向があります。これを市民の皆さまに分かってもらうというのが一番重要なことだと思いますので、今日いただいたご意見を参考にさせていただきな

ら、どんな方向で、これを皆さまにお伝えしたらよいのかというところをもう 1 回考えていきたいと思えます。

今回、アセットマネジメントでも詳しく説明させていただいたのですが、今、水道事業はおかげさまで、皆さまからいただいた料金によって黒字経営をさせていただいておりますが、これも何もしなければ、あと 20 年もすれば底をついてしまいます。

水道事業は、私達の子ども、その先の代まで安定して供給していくという使命を持っておりますので、今、皆さまに負担していただいている料金が、そのままいいのかというのは、その先の世代の方の負担がどれだけかというところまで考えて、計画を進めなければならないということでもあります。このまま何もしないと、数十年先に今の何倍もの水道料金になってしまうということもありますので、そうならないように、どのようにして、この先の世代の人たちの負担を軽減させられるかということも考えた計画ということでご理解をいただければと思っております。本日いただいたご意見を参考に、こういった計画作りに生かさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。大変貴重なご意見ありがとうございました。

エ その他

- i 事務局より今後のスケジュールを説明し、第4回経営懇談会の開催の可否を諮った。

委員長：第4回を開くかということですが、今回の皆さまの意見はどちらかという感想に近いところだったので、内容から開かなくてもいいかなと私は思ったのですが皆さまいかがですか。特にこれに対して改めて開くという必要はないと思えます。皆さまも同様だと思えますが。その辺はよろしいでしょうか。

委員：異議なし。

事務局：それでは本日いただいたご意見のなかで、例えば資料のあり方についても一度精査させていただきまして、出来上がれば委員の皆さまにもお見せしたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

オ 全体を通しての質疑・意見等

委員：検針業務についてですけども、メーターから自動送信するような、コンピュータで簡単にできないものかと思えます。検針業務がどうやってるか分からないですけども、将来的には加味するべきかと。ご検討いただければと思えます。

事務局：スマートメーターと言われるものですけども、こちらにつきましては、やはり導入費用もかさみますので将来的には導入する時代も来るとは思えますが、現時点においては考えていないところです。

《終了15:30》

以上